

星の子 通信

～チーム星宮のみなさんへ～



H.31.1.23 No.15
文責 新井麻起

先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

本校では、学校研究課題として、主題「生きる力」を身に付けた児童の育成～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善～に取り組んでいます。

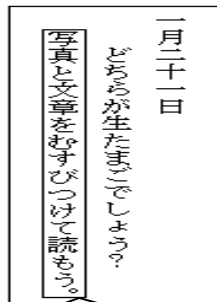
校内授業研究の5回目として、1月21日（月）に 井上 良輔 教諭 による3年の国語科の授業が公開されました。



3年 井上 良輔 教諭 教科 国語 単元名 写真と文章をむすびつけて読みましょう「どちらが生たまごでしょう」

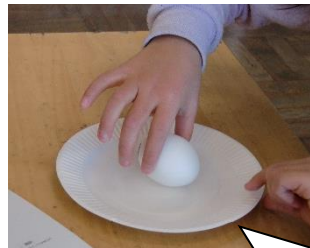
本単元は生たまごとゆでたまごの違いを文章から読み取る授業だが、予め文章から写真を抜いておき、それぞれの写真がどこの文章に当てはまるかを根拠となる言葉や文をもちいて説明することで、それぞれの場面の内容を読み取る力をつけさせる授業である。

【課題提示の工夫】



課題を「写真と文章をむすびつける」といったパズルゲームのようなものにする事で児童の関心を引かせている。

【たまごを回してみているところ】



実際にたまごを回してみ、どんな動きをするか、試してみる。

【文章から写真を抜いたプリント】



意図的に文章中にある写真を抜いておく。

【写真と内容の一致】



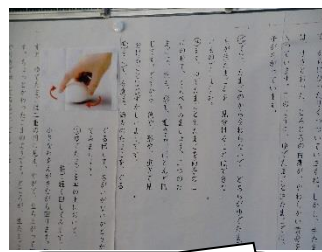
配られた5枚の写真が、文中のどこに入るか、本文を読みながら写真を入れていく。その際に、どうしてその写真を選んだのか文中のキーワードや文章に線を引きながら考えさせる。

【より深く読み取らせる工夫（ダミーを入れる）】



2枚、答えと異なる写真を入れておくことで、似た写真同士の違いを見つけ、どちらが文章と同じ写真かを判断することでより深く文章を読み取る力をつけさせる。

【写真の挿入】



黒板の空欄にも自分で決めた写真を入れてみる。

【写真をその場所に入れた理由の説明】



自分はどうしてそこにその写真を入れたのか、文中のキーワードを使いながら、根拠をもって説明している。

【5つのたまご】



今回の研究授業を実施するにあたり、尾島教務主任、矢野間教諭、田島教諭も入り、指導案を夜遅くまで練っていました。こうしたときに一番力がつきますね。また教師として一番楽しい時間でもあると思いました。

【「主体的・対話的で深い学び」 となるための手立て】

- ☆課題提示の工夫
- ☆見通し
- ☆ICTの活用
- ☆思考ツールの活用
- ☆発問の工夫（「なぜ？」 「どうして？」自分の言葉で説明）
- ☆学習形態の工夫（4人または2人）
- ☆学び合い
- ☆振り返り

【研究協議】

- ☆課題の内容が、写真と文章を合わせる、といった逆説的な発想だったので、子どもたちも主体的に取り組めた。
- ☆ダミーの写真を入れることで、より写真と文章の比較を深めることが出来た。
- ★対話を通して深い学びとなる場面を設定したかった。
- ★活動の前には必ずねらいを示してから行わせる。